

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年12月16日

千葉地方裁判所民事第4部

裁判所書記官 齊 藤 なおこ

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 1月 7日 午前 9時00分から 令和 8年 1月14日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 1月21日 午前 9時30分 場 所 千葉地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 2月 4日 午前10時00分 場 所 千葉地方裁判所民事第4部
特別売却 実施期間	令和 8年 1月22日 午前 9時00分から 令和 8年 1月26日 午後 4時30分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを 令和 7年12月16日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

1 所 在 成田市吾妻一丁目
 地 番 27番12
 地 目 宅地
 地 積 258.45平方メートル

2 所 在 成田市吾妻一丁目27番地12
 家屋 番号 27番12
 種 類 居宅
 構 造 木造瓦葺2階建
 床 面 積 1階 79.49平方メートル
 2階 45.54平方メートル

(現況)

床 面 積 1階 約87.49平方メートル
 2階 約47.54平方メートル

(附属建物)

符 号 1
 種 類 車庫
 構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
 床 面 積 15.31平方メートル

(現況)

床 面 積 約15.81平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年10月15日

千葉地方裁判所民事第4部

裁判所書記官 百 家 聡 子

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

千葉県を買戻権者とする買戻特約登記（昭和54年7月18日受付第14980号）は本執行手続では抹消しない。

ただし、買戻特約付き売買契約の日から10年を経過している。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室等に、別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

1 所 在 成田市吾妻一丁目
 地 番 27番12
 地 目 宅地
 地 積 258.45平方メートル

2 所 在 成田市吾妻一丁目27番地12
 家屋 番号 27番12
 種 類 居宅
 構 造 木造瓦葺2階建
 床 面 積 1階 79.49平方メートル
 2階 45.54平方メートル

(現況)

床 面 積 1階 約87.49平方メートル
 2階 約47.54平方メートル

(附属建物)

符 号 1
 種 類 車庫
 構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
 床 面 積 15.31平方メートル

(現況)

床 面 積 約15.81平方メートル



令和7年（ケ）第259号
令和7年8月19日受理
令和7年10月6日提出

現 況 調 査 報 告 書

千葉地方裁判所
執行官 上 村 卓 嗣

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| 1 | 所 在 | 成田市吾妻一丁目 |
| | 地 番 | 27 番 12 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 258.45 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 成田市吾妻一丁目 27 番地 12 |
| | 家屋 番号 | 27 番 12 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 79.49 平方メートル
2 階 45.54 平方メートル |

(附属建物)

- | | | |
|--|-------|--------------------|
| | 符 号 | 1 |
| | 種 類 | 車庫 |
| | 構 造 | 鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根平家建 |
| | 床 面 積 | 15.31 平方メートル |



不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	住居表示未実施区域	
土地	物件1	
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ 雑種地（物件 ）	
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）	
その他の事項	「その他の事項」記載のとおり	
建物	物件2	
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☒ 主たる建物 ☒ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☒ 床面積（主である他建物）： 1階 約87.49㎡ 2階 約47.54㎡ （附属建物）： 約15.81㎡	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積： }	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を居宅として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）	
その他の事項	「その他の事項」記載のとおり	
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日]	
土地建物の位置関係	☒ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

その他の事項

■土地（物件1）について

- 1 本土地は、北東側及び南西側で市道に接している。
- 2 本土地は、物件2建物の敷地、駐車スペース（カーポート）及び庭として利用されている。

■建物（物件2）について

- 1 築後約45年経過しており、経年による劣化が見られる。
- 2 未登記の増築が1階（約8㎡）と2階（約2㎡）にある。
- 3 和室B、洋室B・C等の天井を中心に雨染みが複数確認される。
- 4 洋室Cの道路側出窓の上枠が壊れて隙間が見られる。
- 5 2階の廊下の床に緩み・壊れ箇所があり、慎重な歩行を要する。
- 6 主である建物と掘込車庫とを接合する天井板の一部が崩れて穴が開いている。掘込車庫の屋上の柵の一部が破損している。

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ 債務者兼所有者	1 本物件には、私が家族と住んでいる。 2 30年程前にシロアリ対策として一部を改築した。その際に洋室Dを増築した。 3 2階の複数の部屋に雨漏りがある。 4 2階の廊下の一部が少し沈みこむが、シロアリの被害の影響と思われる。 5 車庫の天井部分に穴が開いている。 (以上、令和7年9月26日物件所在地で聴取)

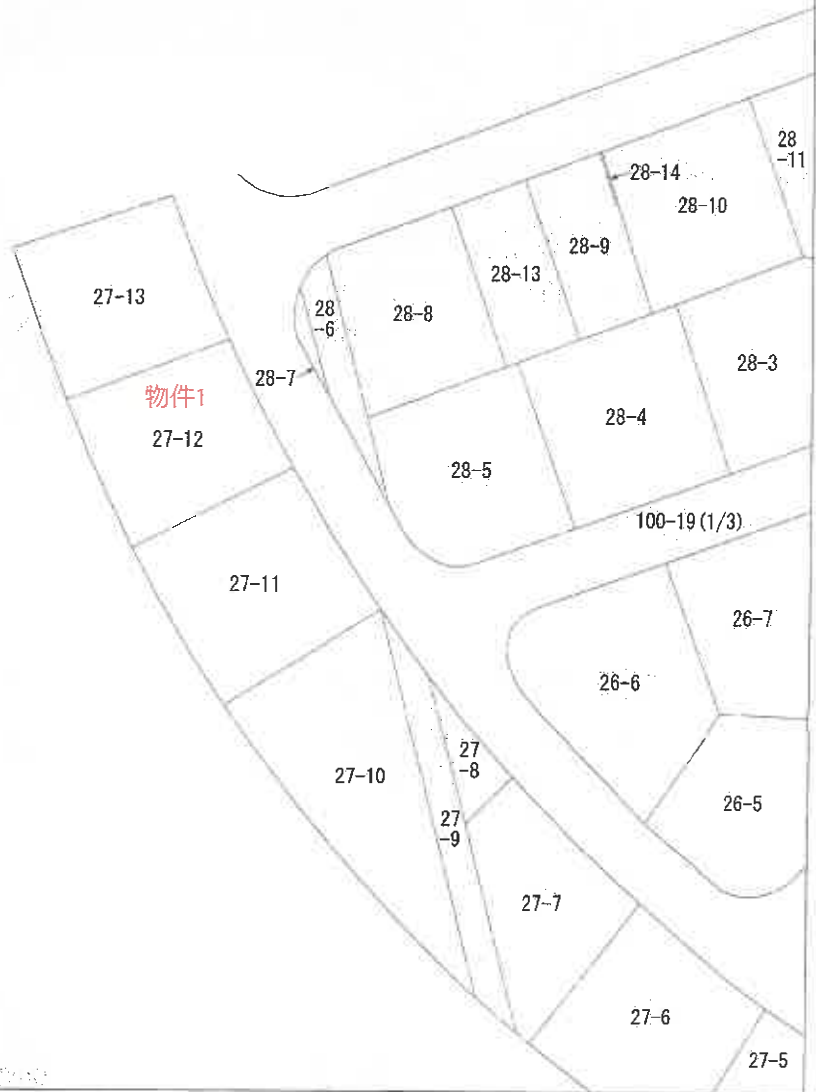
調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
令和7年8月22日（金） 9：50 — 10：05	物件所在地	物件確認、占有調査、写真撮影 不在のため調査協力依頼文書を投函（応答あり。）
令和7年9月26日（金） 13：25 — 14：25	物件所在地	物件確認、占有調査、写真撮影、評価人同行 債務者兼所有者立会、同人から占有状況等を聴取
年 月 日（ ） ： — ：		
年 月 日（ ） ： — ：		
年 月 日（ ） ： — ：		
年 月 日（ ） ： — ：		
年 月 日（ ） ： — ：		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐ 令和 年 月 日		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

(座標値種別：図上測定)

+40779.064

-24028.105



-24154.105

+40654.064

(座標値種別：図上測定)

(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyoku2011.par)による修正がされています。

地番区域見出し

吾妻
1丁目

請求部	所 在	成田市吾妻一丁目				地 番	27番12			
出力縮	1/500	精 度 区 分		座標系 番号又は記号	Ⅸ	分類	地図に準ずる図面（街区成果B）		種類	街区基本調査成果図
作成年月日	平成23年3月				備 付 年月日 （原図）			補 記 事 項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(千葉地方法務局成田出張所管轄)

令和7年7月3日

東京法務局豊島出張所

登記官

地図整理番号：M33700

(1/1)

(6枚目)

(A3版をA4版に縮小)

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(千葉地方法務局成田出張所管轄)
令和7年7月3日 東京法務局豊島出張所
(A3版をA4版に縮小)

(7枚目)

建各階平圖面圖

建物の所在
成田市吾妻一丁目27番地12

A rectangle with a width of 2.78 and a height of 5.51.

作者

250

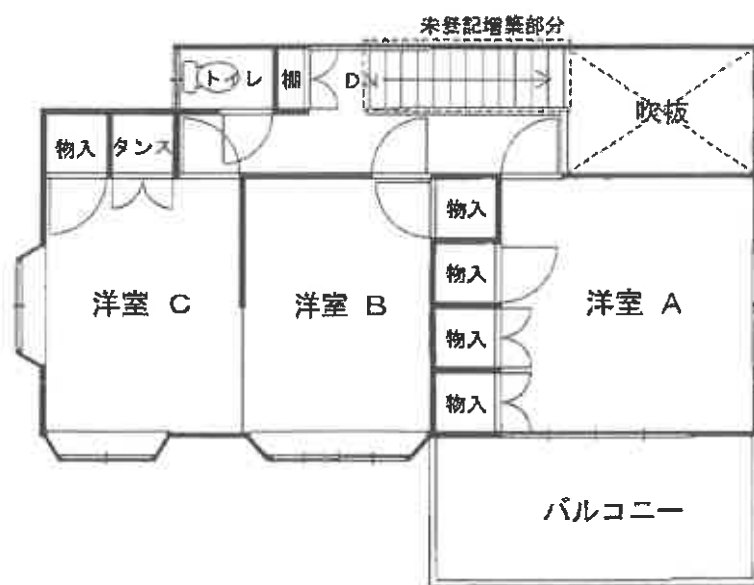
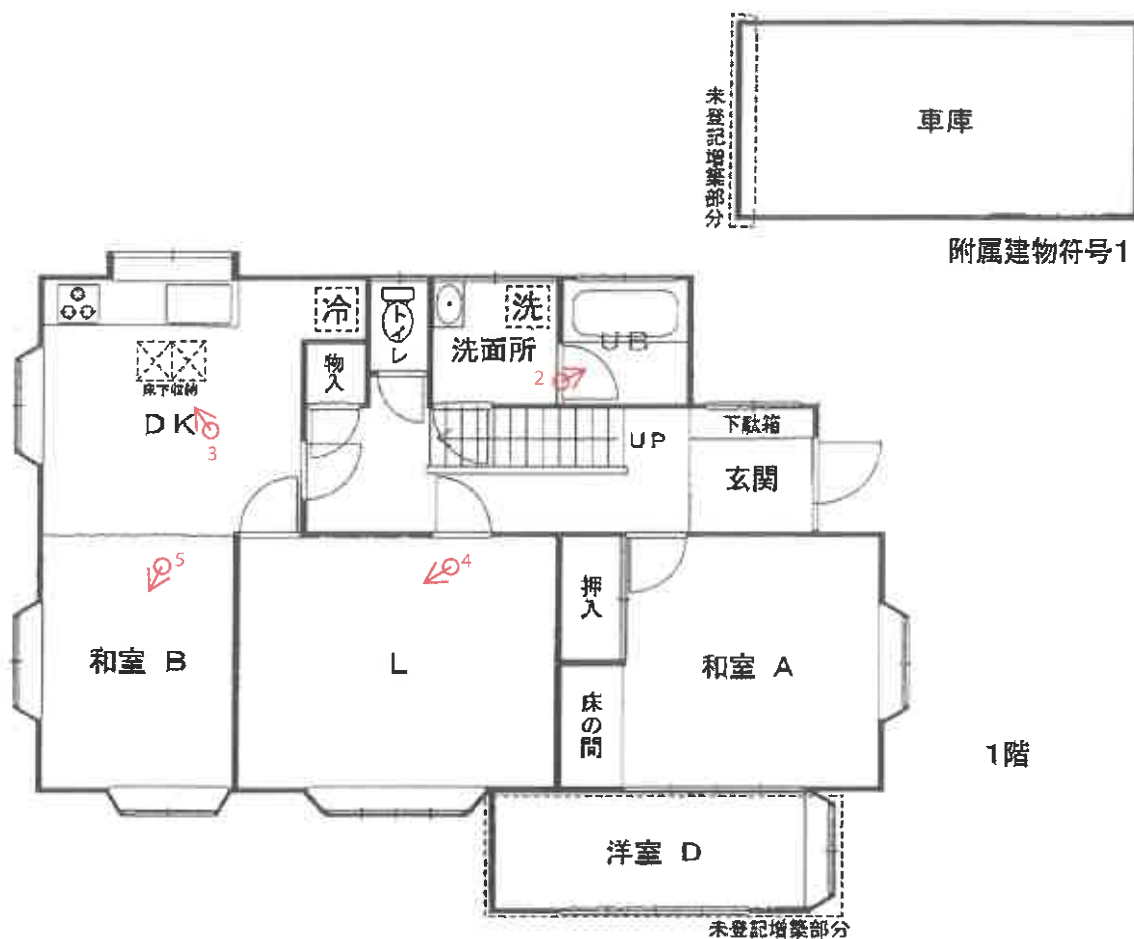
此端

500

(平壤葛士相家慶調查士會用紙)

地区整理番号：M33701

間取図



※ ←○ は添付写真の撮影位置、方向及び番号

1 建物の外観



2 ユニットバス



3 キッチン



4 リビング



5 和室B



6 車庫(附属建物)



令和 7 年（ケ）第 2 5 9 号

令和 7 年 9 月 2 6 日 現地調査

令和 7 年 9 月 2 9 日 評 価

小 調 第 1 0 3 4 号 発行番号

令和 7 年 1 0 月 8 日 提 出 日

千葉地方裁判所

民事第 4 部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

小 畑 昌 也

第1 評価額

一 括 価 格	
金 13,970,000円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金 5,320,000円
物件2（建物）	金 8,650,000円

- 1 一括価格は、物件1，2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件価格は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番 号	所 在 等	登 記	現 況
1	物件目録記載のとおり。		同左
2	物件目録記載のとおり。		住居表示未実施区域 主である建物 床面積：1階 約87.49㎡ 2階 約47.54㎡ 附属建物 床面積：約15.81㎡
番 号	特 記 事 項		
1, 2	第4目的物件の位置・環境等の特記事項参照。		

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記と同じ。

物 件 目 録

- 1 所 在 成田市吾妻一丁目
 地 番 27 番 12
 地 目 宅地
 地 積 258.45 平方メートル

- 2 所 在 成田市吾妻一丁目 27 番地 12
 家屋 番号 27 番 12
 種 類 居宅
 構 造 木造瓦葺 2 階建
 床 面 積 1 階 79.49 平方メートル
 2 階 45.54 平方メートル
 (附属建物)
 符 号 1
 種 類 車庫
 構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
 床 面 積 15.31 平方メートル



第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	J R成田線「成田」駅の西方・道路距離約3.1km 最寄バス停「吾妻小学校」の南西方・道路距離約220m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	中規模一般住宅が建ち並ぶ区画整然とした住宅地域である。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 蔽 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	市街化区域 第1種低層住居専用地域 指定50% 指定100% なし 絶対高さ10m 建築基準法第22条・23条指定区域 新住宅市街地開発事業施行済区域 千葉県がけ条例
画 地 条 件	形状(略台形)、接道方位(北東・南西)、 地勢(緩やかな南上り傾斜の地勢で、地表面は概ね平坦)、 間口(約14.0m)、奥行(約17.0～17.6m)、 高低差(北西側隣地より約1.0～2.3m高い、南東側隣地より約1.0～1.5m低い)、地積は登記(258.45㎡)とほぼ同じ。	
接 面 道 路 の 状 況	①北東側市道(吾妻一丁目21号線)、幅員(約6.0m)、 連続性(普通)、舗装(有)、歩道(無)、側溝(有)、 高低差(道路より等高～約2.3m高い、道路側に擁壁・階段・堀込 車庫(附属建物)が築造されている) ②南西側市道(加良部玉造線)、幅員(約15.0m)、 連続性(優る)、舗装(有)、歩道(有)、側溝(有)、 高低差(道路より約2.0～2.9m高い、道路側に擁壁が築造されてい る)	
	建築基準法上の種類	①・②:第42条1項1号
	セ ッ ト バ ッ ク	不要
	再 建 築 の 可 否	可能

土地の利用状況等	物件1は、物件2の建物の敷地、駐車スペース（カーポート）及び庭として利用されている。 隣地は、北西側・南東側が戸建住宅、北東側・南西側は道路を介し戸建住宅である。
供給処理施設 (敷地内までの引き込みを基準に、引き込みが有る場合を「あり」、無い場合を「なし」とした。)	上水道 あり ガス配管 あり 下水道 あり
土 壌 汚 染 等	○ 過去の利用状況及び現況観察から、土壌汚染の存する可能性は低いと推定する。 ○ 現存建物に係る以外、土地利用を著しく妨げる地下埋設物の存在する可能性は低いと推定する。 ○ 周知の埋蔵文化財包蔵地には指定されていない。
特 記 事 項	○ 本件土地は敷地の周囲に2mを超える法地が存することから、千葉県がけ条例の適用を受けるものと推定される。 よって、本件建物の再建築に際しては、その安全性等に関し、建物建築に係る専門家の判断に委ねられることになり、予定建築物の位置・規模・構造等に影響を与えるほか、擁壁の築造・補修・改修等に係る追加的な費用が発生する場合がある。 ○ 外観からは判然としないが、築造後相当年数を経過していることから既存不適格擁壁の可能性がある。 ○ なりた地図情報によると内水氾濫の浸水想定区域に近接する。

2 建物の概況及び利用状況等（物件2）

区 分	主である建物		
建 築 時 期 及 び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建 築 年 月 日（ 登 記 記 載 ） 経 過 年 数 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	昭和56年3月15日新築 約45年 0年	
仕 様	構 造	木造	
	屋 根	瓦葺	
	外 壁	サイディング張り等	
	内 壁	ビニールクロス貼り，スウェードクロス貼り，砂壁等	
	天 井	ボード，合板等	
	床	フローリング，畳，カーペット，タイル等	
	設 備	キッチン，ユニットバス，洗面台，水洗トイレ等 （電気，上水道，下水道，都市ガス）	
	その他	床下収納等	
床 面 積（ 現 況 ）	未登記の増築が1階（約8㎡）と2階（約2㎡）にあり，現況床面積は以下のとおり。 床面積 1 階 約87.49㎡ 2 階 約47.54㎡ 延べ 約135.03㎡		
現 況 用 途 等	現 況 用 途 間 取 り	居 宅 6 L D K（別添間取図参照）	
品 等	普通。		
保守管理の状態	劣る。		
建物の利用状況	本件所有者が，家族と居住して占有中。		
附 属 建 物	登 記 の 有 無 構 造 ・ 階 層 ・ 用 途 建 築 時 期 ・ 面 積	有 鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根平家建・車庫 昭和56年月日不詳新築（登記記載） 約15.81㎡（約0.5㎡の未登記増築あり）	
特 記 事 項	○ 建築確認：第成108号，昭和55年11月13日 完了検査：なし ○ 30年程前にシロアリ対策として外部等を改築した。その際に洋室Dを増築したとのこと。		

特 記 事 項	○ DKの床に傾きを感じられるとのこと。 ○ 雨漏りが多いとのことで、和室B・洋室B・C等の天井を中心に雨染みが複数確認される。 - 洋室Cの道路側出窓の上枠が撓んで隙間が見られる。 ○ 2階の廊下の床に緩み・撓む箇所があり、慎重な歩行を要する。シロアリ被害の影響ではないかとのこと。 ○ 主である建物と掘込車庫とを接合する天井板の一部が崩れて穴が開いている。掘込車庫の屋上の柵の一部が破損している。
---------	--

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地 積 (㎡) ウ	持 分 エ	建付減価 オ	建付地価格(円) (千円未満四捨五入) ア×イ×ウ×エ×オ=カ
1	85,900	0.95	258.45	1/1	0.90	18,982,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示等（成田－2）

$$\begin{array}{ccccccccc} \text{公示価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 90,000\text{円/㎡} & \times & 105/100 & \times & 100/100 & \times & 100/110 & = & 85,900\text{円/㎡} \end{array}$$

◇ 時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標準化補正：道路方位±0%

◇ 地 域 格 差：街路，交通接近，環境，行政条件格差等を考慮した。

標準画地は，近隣地域において，土地の概況（間口，奥行，規模等）及び利用状況等が標準的な中間画地を想定した。

イ 個 別 格 差：道路方位＋4%，二方路＋2%，道路・隣地との高低差－10%
計（相乗積）－5%

ウ 地 積：登記数量による。

エ 持 分：登記簿のとおり。

オ 建 付 減 価：古家の存在等を考慮した。－10%

② 物件 2（建物）

目的物件の再調達原価を，建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め，これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて，建物の価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア		現況延べ面積 (㎡) イ	現価率 ウ	持 分 エ	建物の価格(円) (千円未満四捨五入) ア×イ×ウ×エ＝オ
2	主	180,000	約135.03	0.035	1/1	851,000
	附	200,000	約15.81	0.035	1/1	111,000
計						962,000

ウ 現 価 率

物件 番号	耐用年数法（定額法）				観察減価率 (E)	現価率 (D) × (1 - (E))
	残価率 (A)	経済的残存 耐用年数 (B)	経過 年数 (C)	定額法に よる現価率 (D)		
2・主	0.05	0年	約45年	0.05	0.30	0.035
2・附	0.05	0年	約45年	0.05	0.30	0.035

◇ 耐用年数法（定額法）：

$$(D) \text{ 現価率} = 1 - (1 - (A) \text{ 残価率}) \times \frac{(C) \text{ 経過年数}}{(B) \text{ 経済的残存耐用年数} + (C) \text{ 経過年数}}$$

◇ 観察減価率：保守管理状況等を考慮した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格（円） ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格(円) (千円未満四捨五入) ア×イ＝ウ
1	18,982,000	0.60	法定地上権	11,389,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を60%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) (1①カ, 1②オ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市 場修正 オ	評 価 額 (円) (1万円未満四捨五入) (7±イ)×ウ×エ×オ
1	18,982,000	－ 11,389,000		1.00	0.70	5,320,000
2	962,000	＋ 11,389,000	1.00	1.00	0.70	8,650,000
一 括 価 格 (合 計)						13,970,000

ウ 占有減価修正：特にない。

エ 市場性修正：特にない。

オ 競売市場修正：第2評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考資料

○ 地価公示価格（成田ー2）

所 在：成田市はなのき台2丁目8番17

価 格：90,000円/㎡

位 置：JR成田線「成田」駅の西方約3.0kmに位置する。

価 格 時 点：令和7年1月1日

地 積：178㎡

供給処理施設：水道，ガス，下水

接 面 街 路：北側幅員6.0m市道

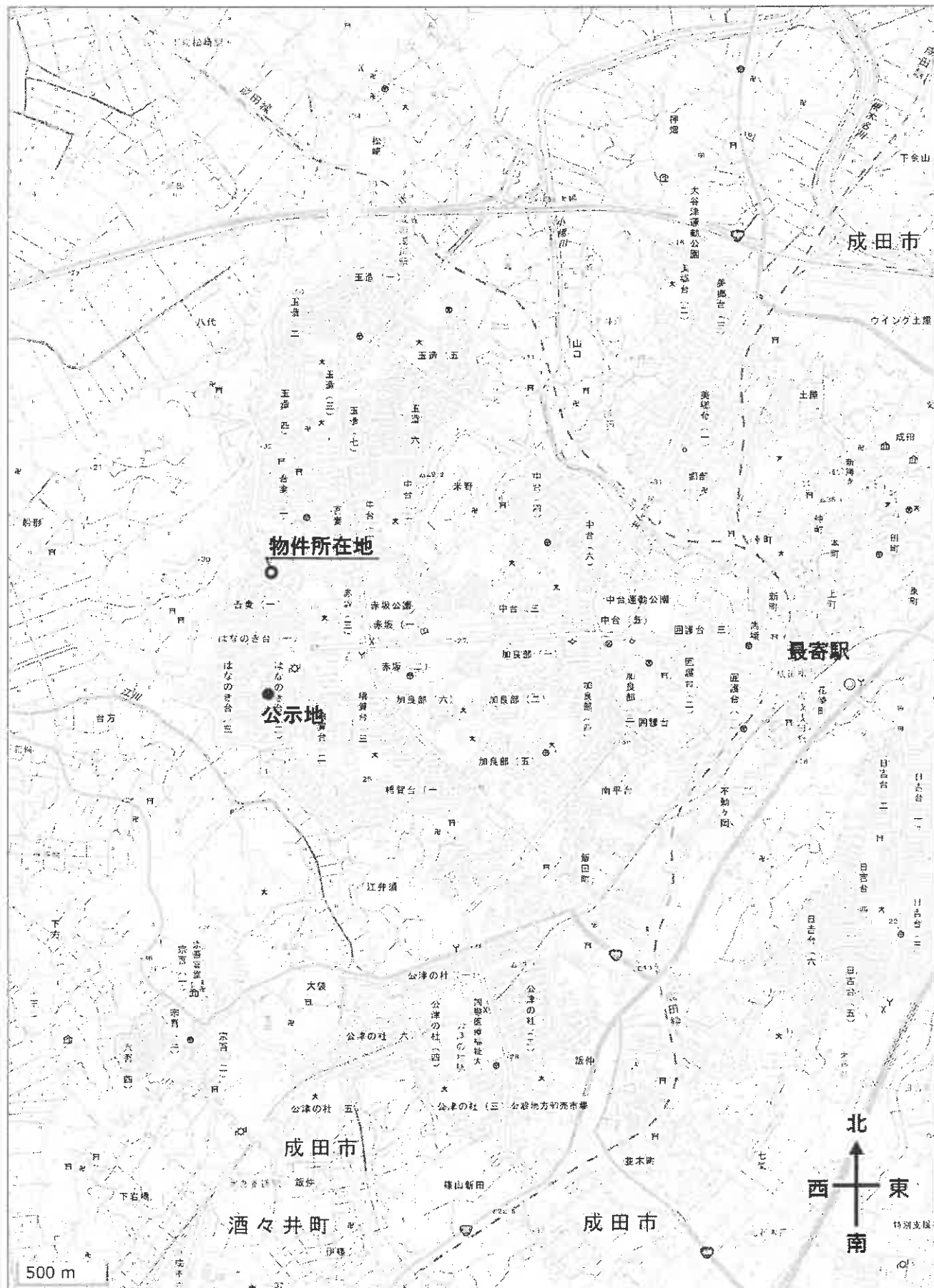
用途指定等：第1種低層住居専用地域（建蔽率50%，容積率100%）

地域の概要：中規模住宅が建ち並ぶ区画整理済の戸建住宅地域

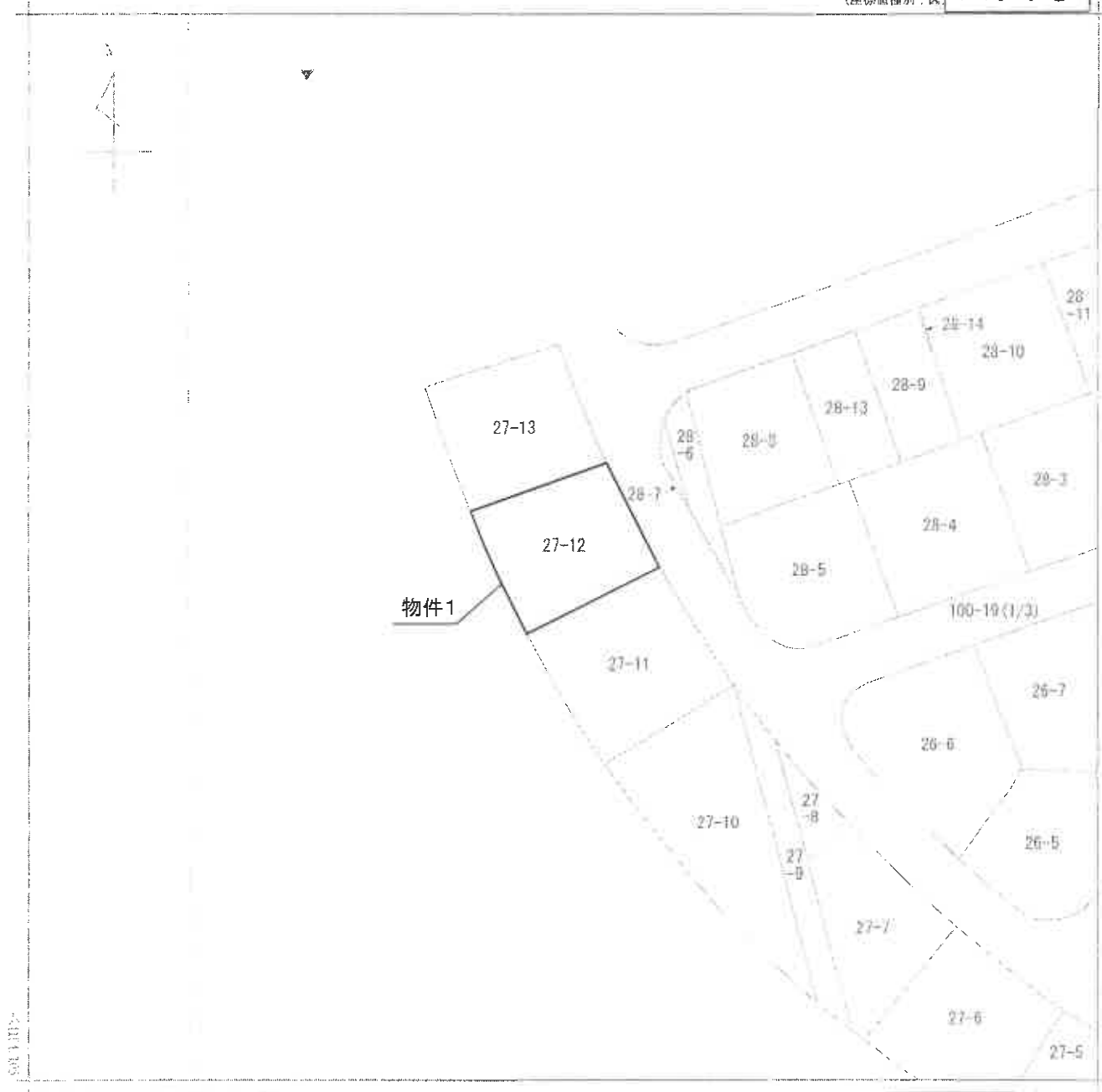
第7 附属資料

- 1 目的物件の位置図
- 2 公図写
- 3 公図写（地籍合成図）
- 4 建物図面・各階平面図写
- 5 間取図

以 上



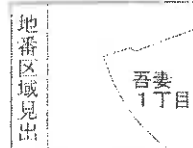




40651.001 (座標値種別：区) 縮小

〔注〕 縮小した図面は、正確な位置関係を示す図面とは限りません。これに代わるものとして提供いたします。この図面は、縮小した図面であり、正確な位置関係を示す図面とは限りません。この図面は、縮小した図面であり、正確な位置関係を示す図面とは限りません。

〔注〕 縮小した図面は、正確な位置関係を示す図面とは限りません。この図面は、縮小した図面であり、正確な位置関係を示す図面とは限りません。この図面は、縮小した図面であり、正確な位置関係を示す図面とは限りません。



縮小 割合	所 在				成田市吾妻一丁目		地 番	27番12			
出 縮 力 尺	1/500	精 度 分		座 標 番 号 は	系 又 記 号	IX	分 類	地図に準ずる図面（街区成果B）		種 類	街区基本調査成果図
作 成 年 月 日	平成23年3月				備 付 年 月 日 (原図)				補 記 項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(A3版をA4版に縮小)

（平成23年7月3日現在）

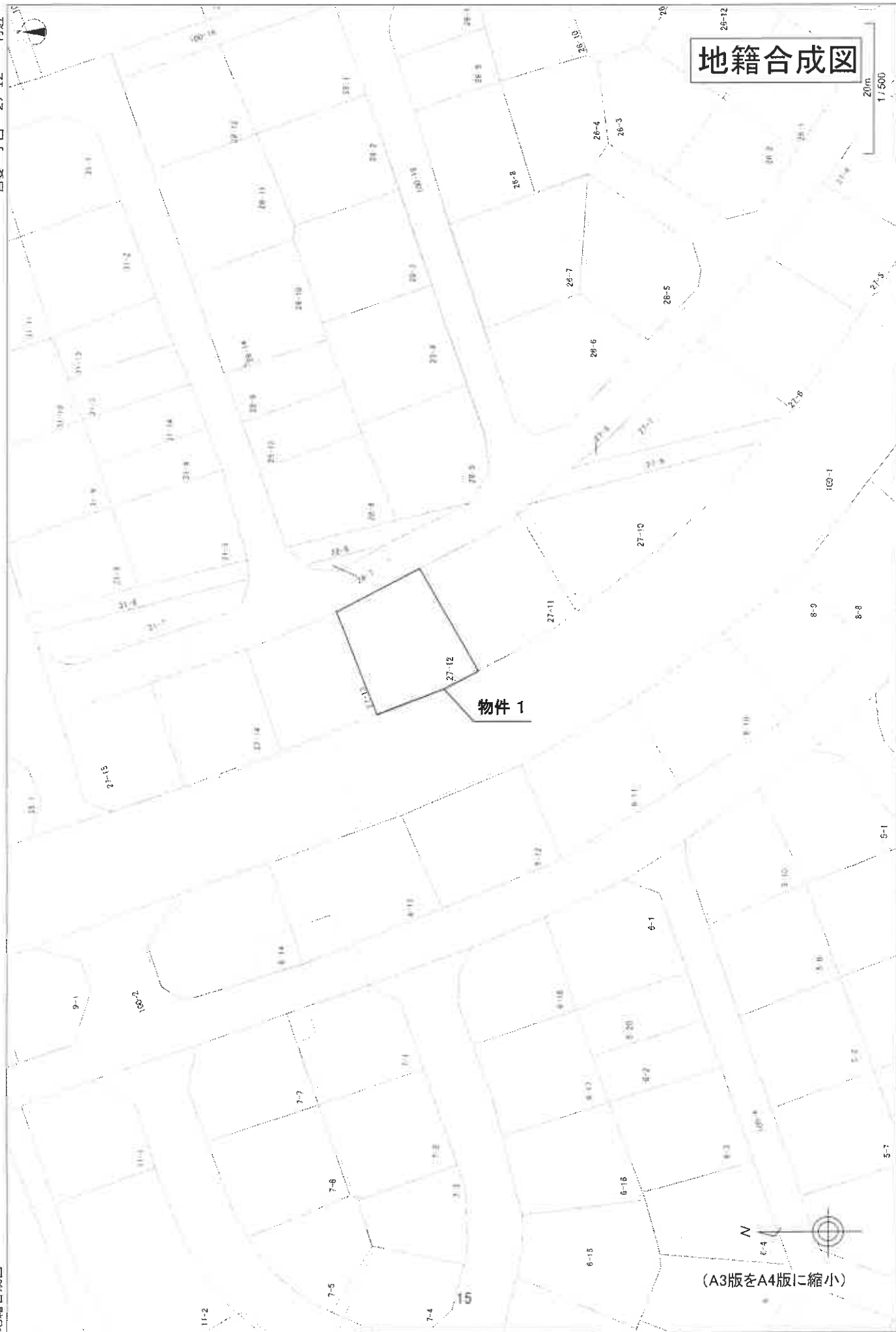
2024年7月3日

東京法務局豊島出張所

地図整理番号：M33700

（記号）

1/1



登記簿第1号 平成28年7月14日

これは図面記載の建物と、その位置関係を示す図面である。
(主たる建物と附属建物の関係を示す図面である)
（土地の境界線は、登記簿第1号の図面と一致する。）

建物図面 各階平面図

家屋番号 27番12

建物の所在 成田市吾妻一丁目27番地12

各階平面図

主たる建物
1階



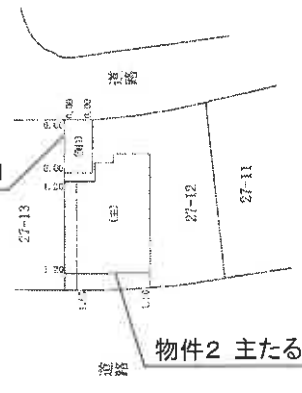
2階



附属建物符号1



物件2
附属建物 符号1



作成者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

(千葉県土地家屋調査士会館)

(A3版をA4版に縮小)

間取図

